**ハンドマイク街頭演説原稿例　　総選挙「４つのチェンジ」**

二〇二一年九月十一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　菅首相が９月３日、突然政権を投げ出しました。菅首相が就任して約１年、菅さんがずっと官房長官をつとめてきた安倍前政権から数えると９年続いた、自民・公明連立政権の政治はどうだったでしょうか。コロナ対策では無為無策で感染爆発と医療崩壊を招きました。一方で、「モリ・カケ」や「桜を見る会」といった政治の私物化や、日本学術会議が決めた新委員の一部を任命しないなどの強権政治など、国民の願いにこたえない政治が続いてきました。こんな政治への怒りが国民の間に大きく広がった結果、菅首相は政権の座に居座りつづけられなくなったのではないでしょうか。

　そして９年間の安倍・菅政治を全力で支え、いっしょになって進めてきたのが、今の自民党のみなさんです。どなたが新総裁に選ばれても、安倍・菅政治の問題点を変えることなどできないのではないでしょうか。みなさん、衆議院の総選挙が目前です。日本共産党は、この総選挙で自公政権を終らせて新しい政治を実現するため、全力で取り組んでまいります。日本共産党へのご支援を、よろしくお願いいたします。

　さてみなさん、自民・公明の政治を終らせて、どのような政治を進めるべきでしょうか。日本共産党は、「４つのチェンジ」を提案しています。

　一つ目は、「強きを助け、弱きをくじく」新自由主義の政治から、国民の命と暮らしを最優先にする政治へのチェンジです。なんでも自助、自分でなんとかしろと国民に求めるような政治から、国民を助け支える政治に変えようではありませんか。二つ目は、口先だけの「カーボンゼロ」から、気候危機打開へ本気の対策へのチェンジです。日本共産党は、２０３０年度までに二酸化炭素の最大６０％削減を提案しています。これは経済発展を抑え込むものではなく、むしろ新しい持続可能な経済発展に道を開くものとなります。

　三つ目は、男女格差のひどい社会から、ジェンダー平等の日本へのチェンジです。女性だというだけで男性より低い給与が当然とされるような社会を変えようではありませんか。そして四つ目は、アメリカ言いなりの政治から、憲法９条を生かした平和外交へのチェンジです。核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界をめざす運動の先頭に立つ日本を、ごいっしょにつくりましょう。

　みなさん、９月８日には、日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組の野党４党と「安保法政の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が、総選挙で自公政権を倒し、命を守る新しい政権の実現をめざす野党共通政策に合意し、各党の代表が署名しました。先ほど紹介した４つのチェンジは、この共通政策とも一致するものです。日本共産党は他の野党とも力を合わせ、この共通政策を実施する政権を実現するために、全力を尽くす決意です。野党の共同、共闘へのご支援を、よろしくお願いいたします。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）